日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院（旧　名古屋第二赤十字病院）で診療を受けられた患者さんへ

～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	大腿骨近位部骨折術後患者における糖尿病と身体活動との関係			
研究実施期間	院長が研究実施を許可した日　～（西暦）2027 年　3 月　31 日			
研究実施診療科	リハビリテーション科			
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2026 年　8 月　20 日		
	院長が研究実施を許可した日	2026 年　8 月　21 日		
対象となる方	（西暦）2022 年　4 月　1 日　～（西暦）2024 年　1 月　31 日に、当院整形外科において、大腿骨近位部骨折の手術を受けた 50 歳以上の方			
研究責任者	所属	リハビリテーション科	氏名	三谷　祐史
研究の意義・目的	大腿骨近位部骨折の手術後は、退院後も運動習慣を維持することが、身体機能や健康状態を保つうえで重要です。一方で、糖尿病のある患者さんでは、身体活動量が低下しやすいことが知られています。本研究では、大腿骨近位部骨折の手術を受けた患者さんを対象に、糖尿病の有無と手術 6 か月後の身体活動との関係を調べます。これにより、退院後の生活を見据えたリハビリテーション支援に役立てることを目的としています。			
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、統計学的に検討します。			
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、個人を直ちに特定できるような情報とは切り離した状態で使用します。年齢、性別、身長、体重、糖尿病の有無、手術前の歩行能力、術後の身体機能、退院 6 か月後の身体活動などです。			
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。			
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・			

	管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途倫理審査を受け、承認を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 リハビリテーション科　永田　達也 電話　052-832-1121（代表）